

目標は 1.5°C: Science Based Targets イニシアチブ (SBTi) が、 フォルクスワーゲンが掲げた生産工程における 気候変動対策目標を認定

- 独立機関のイニシアチブが科学的根拠に基づいて認定: フォルクスワーゲン グループが新たに掲げるスコープ 1 および 2 の排出物質削減目標は、地球温暖化を 1.5°C に抑える目標に合致
- グループは、自社の生産施設における排出物質削減目標を 2018 年比で 30% から 50% に引き上げ
- 明日のアースデイに合わせて 2 度目の「Project1Hour」(プロジェクト 1 時間) を実施: 全世界 67 万人の従業員が業務時間内に気候保護のアイデアを模索できるために 1 時間を与えられる
- フォルクスワーゲン AG 取締役会会長、Dr. ヘルベルト ディース: 「誰もがそのアイデアによって、気候保護の勢いを加速させることに貢献できます」

2022年4月21日、ウォルフスブルグ。Science Based Targetsイニシアチブ (SBTi: 科学的根拠に基づく削減目標イニシアチブ) は、フォルクスワーゲンが掲げた生産工程の気候変動対策目標を科学的に検証した上で、再認定を行いました。地球温暖化に関するフォルクスワーゲンのSBTi目標水準は、スコープ1(内部業務)およびスコープ2(エネルギー供給)に関し、以前の「2°C未満」の温暖化から「1.5°C」に引き上げられました。Science Based Targetsイニシアチブとフォルクスワーゲンは、アースデイ(地球環境について考える日)の前日にこのニュースを発表します。フォルクスワーゲンはまた当日、従業員を対象に2度目となる「Project1Hour」への参加を呼び掛けました。このプロジェクトでは、全世界の約67万人が、自分自身と会社のカーボンフットプリントを削減し、気候保護に貢献するアイデアを業務時間内に探ることができるために1時間を与えられます。

Science Based Targetsイニシアチブ (SBTi) が、フォルクスワーゲン グループのスコープ1およびスコープ2に関する排出物質削減目標を最初に検証したのは、2020年9月のことでした。SBTiの分析によると、その計画は、地球温暖化を2°C未満に抑えることを目指すパリ協定の要件を満たしていました。

VOLKSWAGEN

AKTIENGESELLSCHAFT

そのわずか2年以内に、SBTiはフォルクスワーゲンAGの改訂されたスコープ1およびスコープ2に関する排出物質削減目標を再検証し、目標1.5°Cの範囲に収まっていることを再認定しました。この新しい目標は、生産業務とエネルギー供給に関するものです。

生産段階におけるCO₂排出量は、2018年を基準年として、2030年までに30%削減する予定でした。グループは現在、この目標を50%に引き上げました。



SCIENCE BASED TARGETS

現在、EU内にあるフォルクスワーゲンの工場では、社外から調達する電力の96%が再生可能エネルギーとなっています。来年までには、EU内においてこれを100%にする予定です。2030年までには、中国を除くすべての拠点において100%を達成したいと考えています。

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

CO₂排出量目標をさらに厳しく設定することで、生産部門もまた、フォルクスワーゲン グループ全体が掲げる気候変動対策目標の達成に貢献することになります。同社は、2018年を基準年として、2030年までに(乗用車および小型商用車)1台あたりの平均CO₂排出量を30%削減することを目指しています。

2021年、フォルクスワーゲン グループはCO₂排出量の削減において大きな進歩を記録しました。CO₂排出量は、グループ全体で新車1台あたり1.7トン削減されました。これが実現した要素としては、再生可能エネルギーの使用に加え、製品ポートフォリオの電動化、ヨーロッパにおける風力発電および太陽光発電普及の支援などが挙げられます。

フォルクスワーゲン グループが掲げる科学的根拠に基づいた野心的な目標値に関する詳細は、Science Based Targetsイニシアチブ(SBTi)のウェブサイト(www.sciencebasedtargets.org)において、アースデイの前日である今日から公開されています。昨年、フォルクスワーゲン グループは、アースデイに「Project1Hour」を掲げて参加しました。全世界の約67万人の従業員が、業務内の1時間を使って気候変動に関して学び、また自分自身と会社のCO₂排出量削減のために何ができるか、アイデアを探りました。フォルクスワーゲンは今年も、2度目となる「Project1Hour」を実施します。昨年の参加者は、さらに知識を深めることができるでしょう。

SBTiによる最新の検証および2度目の「Project1Hour」に関し、フォルクスワーゲンAG取締役会会長のDr. ヘルベルト ディースは、次のように述べています。「2050年までに地球の気温上昇が1.5°Cに抑えられるのか、2°C上昇してしまうのかは、種の絶滅、干ばつ、海面上昇などに大きな影響を及ぼします。フォルクスワーゲン グループは、未来の世代のために世界を守るという責任を負っています。この理由により、私たちは、生産工程における排出物質削減目標をわずか2年以内に引き上げました。Science Based Targetsイニシアチブが、この目標を認定してくれたことを嬉しく思います。」

VOLKSWAGEN

AKTIENGESELLSCHAFT

グループはまた、サプライチェーンの脱炭素化、リサイクル推進、車両の電動化といった、他の領域におけるサステナビリティ向上にも真剣に取り組んでいます。「地球温暖化と戦う会社としての成功は、従業員一人一人次第でもあります。これが、グループ全体で実施する“Project1Hour”を私が重視する理由です。誰もがそのアイデアによって、気候保護の勢いを加速させることに貢献できます」と、ヘルベルト ディースは述べています。

Volkswagen AG

Volkswagen Communications

Contact Sebastian Schaffer

Phone +49-172-529 -0-334

E-mail sebastian.schaffer@volkswagen.de | www.volkswagen-newsroom.com



About the Volkswagen Group:

The Volkswagen Group, with its headquarters in Wolfsburg, is one of the world's leading automobile manufacturers and the largest carmaker in Europe. Ten brands from seven European countries belong to the Group: Volkswagen Passenger Cars, Audi, SEAT, Cupra, ŠKODA, Bentley, Lamborghini, Porsche, Ducati and Volkswagen Commercial Vehicles. The passenger car portfolio ranges from small cars all the way to luxury-class vehicles. Ducati offers motorcycles. In the light and heavy commercial vehicles sector, the products range from pick-ups to buses and heavy trucks. Every weekday, 672,800 employees around the globe are involved in vehicle-related services or work in other areas of business. The Volkswagen Group sells its vehicles in 153 countries.

In 2021, the total number of vehicles delivered to customers by the Group globally was 8.9 million (2020: 9.3 million). Group sales revenue in 2021 totaled EUR 250.2 billion (2020: EUR 222.9 billion). Earnings after tax in 2021 amounted to EUR 15.4 billion (2020: EUR 8.8 billion).